

週日の説教

金 大烈 神父 2010年7月20日(火)

《心豊かにさせる生き方》

主の平和

今日は暑かったです。いつまで続くのでしょうか。これは日本だけではなく、地球全体が暑い所はより一層暑くなっている状態です。このような暑さが続いて色々な所から「どうなっているか」と耳にした時に、皆様はどう思われるのでしょうか。私達も清いきれいな心を持って、この地球のために、神様の創造の御業に協力しなければならないと試してみました。

結局、人間の欲望によって地球がこのように変わって駄目になって来ているわけですね。人間の欲望によって森林破壊が激しくなり、酸素補給して来たアフリカとかブラジルのアマゾン川地域、インドネシアのボルネオ地帯の森とかが3分の1しか残らないような事になってしまったわけです。そして私達が「暑い、暑い」と言ってクーラーを使うわけですが、そのクーラーから出されるガスによっても、このような事をもっと深刻にさせている結果になっていると思います。とにかく、私達がこのような事を人々と分かち合って、この地球を子孫達に残し伝える事が出来るかについて、全ての人々が、特に力を持っている人達が取り組まなければならない大きい宿題だと思います。そういう面でも私達は悔い改めて赦しを求める心を持つべきだと思っています。

さあ、今日の福音(マタイ 12・46-50)に入ってみます。ある村は全ての基準が数字でした。数字が中心になって人々の会話がなりたっている村でした。例えば、朝早く起きてその日始めて出会った人に「何時間寝られました」と言うのが挨拶。私は「6時間寝ました」そして、夕方になったら、「今日、何時間仕事なされたのでしょうか。」このように挨拶をかわすのが普通になっている村がありました。そして誰かが亡くなったりしたら「あの人は何歳でしたか」一人亡くなったのでこの村の人口は何人なったのでしょうか。「お金はどの位入ったのでしょうかね」と。普通に友人とお酒を飲む時も、「今、どれだけ飲んだの」「あなたの通帳にはお金はどれ位残っているの」このように必ず会話に数字が入る会話でなかったら、会話にならない村でした。その人々の生き方をご覧になった神様が悲しくて「どうすればいいか」と思い、全ての村人の考え方にその数字の代わりに「愛」という言葉を入れたわけです。それからは人々が、朝の挨拶から愛のこもった挨拶をかわすようになりました。例えば「お元気ですか、夕べは暑くなかったですか、お体は大丈夫でしたか。」このような挨拶をかわすようになったそうです。そして「私が手伝う事はないでしょうか。今日は本当にお疲れ様でした。」このように会話の内容が180度変わったそうです。この数字が中心になった村の話、面白いでしょう。私は今の世界がこの村の話と同じだと思うのですが、そうじゃないでしょうか。よく考えてみて下さい。結局、私達が生きているこの世の全ての量りの基準が数字になっているのです。あらゆることについて「あの人は何の薬を飲んでこのように長生きして100歳まで近づいているのか」。「あの人は血圧が幾らま

で上がった」とか「あの人の車の排気量は 2000cc だ、何 100 万円のバイクを持っている。」そのような生き方が殆どですよね。という事は、神様が私達の生き方をご覧になりながら、心を痛めていらっしゃるのではないかと私は思います。そういう面で今日「神様の御心を行う人がわたしの家族である。親であり、兄弟姉妹である」というこの言葉を考えてみますと、やっぱり私達が基準として一番量らなければならない事は、神様の御心でしょう。神様の御旨はどのように量るのか。それは神様が全ての人間に下さった良心というその心が基準になると考えてみました。

皆様、私達は生きている者なのでいつか死にます。そして生き方、生きる方法もさまざまに沢山あります。しかしそのさまざまの生き方の中で一番自分らしく生きる方法、人間として、人間らしく生きる方法、そしてもっと自分を心豊かにさせる生き方を選ぼうとする、そういう努力が何よりも必要じゃないかと思えます。もちろん難しい事に沢山ぶつかります。しかし、結局私達が「疲れたけれど、難しかったけれど、この道を歩んでよかった。」と感謝の心を持てれば最高ではありませんか。

さあ皆様、出来るだけ数字の話は止めましょう。しかし、数字を使わずにはいけない世界なので必要ですよね。ですから、出来るだけその数字を言う前にその数字が、愛が基になって言える数字であれば問題ないでしょう。しかし、数字のために言う数字ならば、それは止めた方がいいのではないかと思います。

さあ頑張りましょう。気温は何度まで上がるか分かりませんが、多分司祭官は今年も 40 度越えるかもしれませぬ。しかし、この暑さの中、外仕事をしている人の苦勞がどの位か、それに心を傾けながら私も頑張ります。このような人間的な考えが、また神様の事と余り変わらないと意識するべきだと思います。これは御旨だと思います。なぜなら、私達は誰でも美しい良心を持っていますので、そこに希望を置くのが相応しいと思ってみました。

ありがとうございました。